

企画展示案内

11月の企画展示は「写真・パネルで巡る！磐梯山ジオパークパネル展」を開催します。
磐梯山ジオパークの活動をパネルで紹介しながら、磐梯山をはじめとする
ジオサイトを学べる展示です。ぜひお越しください！

企画展 写真・パネルで巡る！磐梯山ジオパークパネル展

主 催：磐梯山ジオパーク協議会
開催期間：11月1日(土)～12月25日(木)
場 所：裏磐梯ビジターセンター 企画展示室
入 場：無料

冬のイベント案内

「第19回裏磐梯ビジターセンター研究発表会」

裏磐梯ビジターセンターでは、毎年冬に、磐梯朝日国立公園やその周辺で研究を行った
大学生や高校生、一般団体の研究や活動成果を発表する「研究発表会」を行っています。
今年度も、2026年3月に「研究発表会」を開催する運びとなりました。

現在、**発表者**を募集中です！ご興味のある方は、
裏磐梯ビジターセンター公式HPから詳細をご覧ください！！

場 所：裏磐梯ビジターセンター レクチャールーム
会 期：令和8年3月8日(日) 10:00～16:00(予定)
内 容：

磐梯朝日国立公園およびその周辺地域を対象とした研究、あるいは同地域に研究成果が波及可能な
他の自然公園等を対象にした研究を行った、大学生または大学院生のほか、自然環境に係る団体等
や高校生等を対象

発表形式：スライド等を使用した、口頭発表およびオンライン上での発表

参加申込：公式HPまたはこちらのQRコードから→



◀ 昨年の発表会の様子

磐梯朝日国立公園 裏磐梯ビジターセンター

〒969-2701 福島県耶麻郡北塩原村大字松原字剣ヶ峰 1093-697

【電話】0241-32-2850 【FAX】0241-32-2851 【ウェブサイト】<http://www.urabandai-vc.jp/>

裏磐梯だより 2025年11月 No.132 [企画・発行] 裏磐梯ビジターセンター自然体験活動運営協議会



HP



X



Instagram

裏磐梯だより

No.132

2025年11月



磐梯朝日国立公園

裏磐梯ビジターセンター



「ブルーフォール（小野川不動滝）」

小野川不動滝の両脇にできる青い氷です。滝を包み込むように少しずつ形成されていきます。例年1月から3月ごろが見頃で、遊歩道は積雪のためスノーシューが必要です。初めて訪れる際は、ガイドさんの同行をおすすめします。

裏磐梯図鑑 No.47

冬の使者 ハクチョウ

自然解説員の巡視日記

アニマルトラッキングのススメ

ようこそビジターセンターへ

秋の講演会を行いました

冬の使者 ハクチョウ



白鳥ってどんな鳥？

10月のはじめ、朝の冷え込みが少しずつ強まるころ、日本各地に白く大きな翼をもった渡り鳥たちの姿が見られるようになります。日本から数千キロ離れた北の大地・シベリアから渡ってくるハクチョウのなかまです。ハクチョウのなかまは、カモのなかまに分類されます。カモよりも大きな体と長い首をもち、その長い首を活かして水中で食べものを探します。食べものは主に植物で、水中の草やその根っこを食べます。水深のあるところで食べものを探するとき、ハクチョウはおしりだけを水の上に出して、逆立ちのようなかっこうになります。このすがたはとても可愛いので見かけたらぜひ観察してみてください。

ハクチョウは「つがい」が生涯にわたって続くことが多く、家族のきずなが強い鳥です。つがいや家族同士で『コオーコオー』と鳴き交わすことも多く、その声は冬の風物詩として多くの人に親しまれています。

毎年冬になると、裏磐梯の湖沼や猪苗代湖にも多くのハクチョウのなかまが訪れます。特に猪苗代湖はコハクチョウの重要な飛来地となっており、今年の7月15日にラムサール条約に登録されました。

オオハクチョウ、コハクチョウの見分け方

猪苗代湖の周辺では、おもにオオハクチョウとコハクチョウの2種のハクチョウを見ることができます。その多くはコハクチョウですがオオハクチョウも少なからず見られますので、見分けにチャレンジしてみましょう！



コハクチョウ
Cygnus columbianus

オオハクチョウ
Cygnus cygnus

くちばしの黄色の部分が
せまくて先がとがらない

くちばしの黄色の部分が
広くて先がとがる

くちばしや体が
オオハクチョウ
より小さい

水面を優雅に進むイメージが強い
ハクチョウたちですが、雪解けが
進んだ田んぼなどでも見られます。
鳥を観察する際にはマナーを守って
人にも鳥にもやさしい観察を
お願いします。

コハクチョウより
首が長いため、
細長く見える

自然解説員の巡視日記

アニマルトラッキングのススメ

紅葉の季節も終わり、いつ雪が積もるか、そわそわ?している今日この頃。みなさんは、積雪期が好きでしょうか?通行止めなどで行動は制限され、雪かきも大変。なにより生き物の気配が薄い…という声が多く聞こえてくる積雪期ですが、この時期ならではの自然観察を楽しめる好機でもあるのです。

積雪期の特徴としては、なんといっても雪があることです!!雪があることで下草を気にせず森の中を歩けるほか、雪は動物たちのさまざまな痕跡を保存してくれます。こうした動物たちの痕跡(フィールドサイン)を追ひ、動物の生息状況や行動を読み取るのが『アニマルトラッキング』です。

たとえば、足跡からはその動物の種類や行動が、何かを食べた跡(食痕)やフンからは、その動物がその時期に何を食べているかを知ることができます。

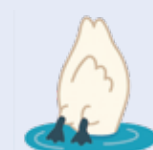
これらの痕跡は一年を通して見られますが、特に積雪期は雪の上に足跡が残るうえ、白い雪面に痕跡が目立つため、観察にはもってこいの時期になります。

慣れてくると、雪面に残る足跡の深さや形を比べることで、動物の大きさや歩き方までわかるようになるそうです。

積雪期は、雪が自然のノートとなって動物たちの暮らしを記録してくれる季節です。ぜひ、この時期ならではの自然観察を楽しんでみてください。



▲トウホクノウサギの足跡・食痕・フン



ようこそビジターセンターへ

秋の講演会を行いました

Welcome



10月3日に秋の講演会「雄国沼湿原の現状とこれから～シカ侵入について～」を開催しました!

おとしから、裏磐梯ビジターセンターに関わりの深い4市町村(北塩原村、猪苗代町、磐梯町、喜多方市)を巡って講演会を実施してきましたが、今年はその最終回として喜多方市での開催となりました。

テーマは喜多方市の東の端にある金沢峠からすぐの雄国沼・雄国沼湿原についてで、3名の講師にご講演いただきました!

有名なニッコウキスゲをはじめ、希少な植物が数多く生育する雄国沼ですが、近年はニホンジカを目撃が増加し、希少植物の食害が心配されています。今回の講演で想像以上に危機が迫っていることが分かりました。魅力ある雄国沼を守るため、私たちにもできることをしていきたいと思いました。



講演内容 10/3(金) 喜多方プラザ文化センター 第2会議室	
1部	「雄国沼湿原の現状について」 山口 恒孝 氏 くちばしを伸ばしてシカを追い払う雄国沼の現状について。また、シカによる食害の現状と対策について。講演後、雄国沼湿原の見学を行います。
2部	「雄国沼湿原のシカ侵入についての現状と対策」 千本木 洋介 氏 くちばしを伸ばしてシカを追い払う雄国沼の現状について。また、シカによる食害の現状と対策について。講演後、雄国沼湿原の見学を行います。
3部	「他地域のシカの侵入への影響と対策」 南 正人 氏 くちばしを伸ばしてシカを追い払う雄国沼の現状について。また、シカによる食害の現状と対策について。講演後、雄国沼湿原の見学を行います。

裏磐梯ビジターセンター自然体験運動室協議会
住所: 〒960-2701 福島県耶麻郡北塩原町大字雄国沼 第2003号
TEL: 0241-32-2850 FAX: 0241-32-2851
営業時間: 9:00～17:00(休)

NPO法人 裏磐梯エコツアーズ協会
住所: 〒960-2701 福島県耶麻郡北塩原町大字雄国沼 第2003号
TEL: 0241-32-2850 FAX: 0241-32-2851
営業時間: 9:00～17:00(休)

お問い合わせ 申し込み
裏磐梯ビジターセンター
0241-32-2850